

鳩山幼稚園だより



ピジョっこ

地域とつながり 地域に愛される みんなだいすき はとやまようちえん 園長 岡部 玲子 NO14 令和5年 特別号

幼稚園では卒園式練習がだいぶ進んできました。今まで卒園していった子供たちと同様、どの子供もしっかりとした態度で臨んでいました。当日は立派な卒園式になるのではないかと確信しています。

さて、冬休みに皆さんに書いてもらった『思い出の本の紹介』と『食育活動についての感想』をまとめました。たくさん書いていただきありがとうございました。遅くなりましたが、紹介させていただきます。

卒園式練習 (3月8日)



幼稚園の絵本ルーム



科学絵本「りんごだんだん」絵本
のようになかなか変化しません？



【保護者の皆さんの思い出本】

○「むるとめるのぼうけん」 作 久我 通世

進級の際に、幼稚園からいただいた月刊絵本の様です。明るい色調で描かれた自然豊かな情景と、次々に乗り物を改良して進めていく冒険にすっかり引き込まれたようで、楽しい思い出として残っています。最近、娘用にと母から渡された、私の幼少期の絵本の中にたまたま入っていてうれしかったです。改め見て見ると様々工夫されていて本当に良い絵本だと思いました。

○「モモ」 作 ミヒヤエル エンデ

小学校の時、初めて「モモ」を読みました。時間泥棒に、気づかぬうちに時間を盗まれた人々はだんだん忙しくなり、無口になり、人柄や性格までが変わってしまう…。それをモモが救うお話ですが、だんだん人々が変わってしまう様子が分かり、ドキドキしながら読んでいました。この本は何度も読んでいて、大人になってもまた出会い、今でも本棚においてあります。

○「ふしぎなおきやく」 作 肥田 美代子 絵 岡本 颯子

寝る前によく読んでもらっていました。夜なのにラーメンが食べたくなってしまう。とんちんけんのけんさん(ラーメン屋)という不思議なお客のラーメンへの愛情が子供ながらに伝わってくるのかなと思っています。一度食べてみたいです。

○「おだんごぱん」 訳 瀬田 貞二 絵 脇田 和

幼いころ、両親に繰り返し読んでもらった幼い思い出の本です。ロシアの昔話で、少しずつ長くなっていくフレーズが楽しく、リズムが心地よかったことを覚えています。絵も独特な淡い色づかいや、とぼけた表情が印象に残っています。そして、なんといってもおだんごぱんがおいしそうなのです！子供と一緒に読みたくなったので自宅用に購入しようと思っています。

○「スイミー」 作 レオ・レオニ 訳 谷川 俊太郎

自分が幼稚園時代、読書の時間や自由時間に何度もくり返し読んでいた本のひとつです。教科書に

も載っていたので、触れたことがある方も多いと思いますが、本で読むと絵が大きくてとっても綺麗。谷川俊太郎の訳も印象的です。レオ・レオニの本全般に言えるテーマですが、仲間と少し違う個性を持った主人公が、その存在意義を発揮します。そんな頭の固い読み方はさておき、本を開いて美しい絵を見てみてください。

○「かいじゅうたちのいるところ」 作 モーリス・センダック

「わたしのワンピース」 作 にしまき かやこ

少し話はそれますが、今家では、鈴木 のりたけ 作 「大ピンチずかん」が流行っています。「牛乳こぼれた大ピンチ! はい〜!」と「やす子」のまねをして自分の色々なピンチをラップ調で楽しんでいます。

○「しょうぼうじどうしゃ じぶた」 作 渡辺 茂男

いつもは目立たない小さな消防車が、自分の特徴を生かして活躍するお話です。幼稚園の頃を買ってもらい兄弟と繰り返し読んだ思い出の絵本です。鳩山幼稚園にも同じ本があり、上の子が借りてきたときに、久しぶりに読みました。自分の好きな本を子供と一緒に読むことができてうれしかったです。

○「こんなこいるかな」 作 有賀 忍

いやだ いやだの やだもんや、まねっこのまねりんなど、たくさんのキャラクターが出てくるシリーズ絵本です。こちら家にもあり、母に読んでもらいました。自分と似ている子を探すのが楽しかったです。娘はやだもんが好きで、さくら組の時に借りて一緒に読みました。

○「風の谷のナウシカ」 作 宮崎 駿

自然と生き物と人間の関わり合いについて子供ながらに考えさせられました。草花だけでなく菌や自然の循環に興味を持つきっかけになりました。

○「はらぺこあおむし」 作 エリック・カール

ストーリーというよりも絵のテクスチャが大好きで日常の中の風景からテクスチャを探す遊びが好きになりました。絵を描いたり写真を撮ったりすることへのきっかけでもあったように思います。

○「サンタクロースっているんでしょうか？」 作 フランシス・チャーチ

うる覚えですが、幼稚園生位の時に近所の方からいただいたと思います。外国の絵本できれいな装丁に、お姉さんになった気がして長い間本棚に大切に飾っていました。内容は当時理解はしていませんでしたが、本はきれいなんだな、から入り今は中身も大好きです。

○「ちょっとだけ」 作 瀧村 有子

この絵本は私が親になってから読んだものですが、読んでいるいろいろな思いがこみ上げてきます。何気ないちょっとした出来事でも、ごめんね・ありがとう・すごいねなどの言葉を子供たちに伝えようと思う本です。最後に出てくるママの「いっばいだっこしたいんだけど、いいですか?」と子供の「いいですよ!」のところが好きで、この本を読み終えた時は毎回子供をぎゅっとしています。

○「どうぞのいす」 作 香山 美子 絵 柿本 幸造

幼かった長男に送った本です。この本の動物たちのように他人を想いやることのできる子になって欲しい、と思い本屋で選んだ本です。絵がホッコリとあたたかくてお話も優しさにあふれていて、私も大好きな本です。長男がやさしい子に育ったかどうかは???ですが、購入後、図書館で香山さんと柿本さんの絵本を調べて借りて読み聞かせていました。

○「ノントンブランコのせて」 作・絵 キヨノ サチコ

いち に～ さん、えーと、えーと と数が数えられないノントン。みんなで数を数えてもらうページが好きで何度も読んでもらいました。昔、ノントンが好きだったこともあり、パペットを購入。息子はノントンのパペットがお気に入り、どこに行くのもノントンと一緒に。1歳からのロングセラーのお気に入り。親子そろってノントン好きです。

○「あなたがだいすき」 作「鈴木まもる」

大人も子供も読んで気持ちが温かくなります。気持ちを伝えるためあえて「あなた」→「○○(子供の名)」に変えて読んだり良くしていました。大好きが伝えられる本です。

○「くらやみ城の冒険」ミス・ビアンカシリーズ 作 マージェリー・シャープ

ミス・ビアンカシリーズが好きでした。おしゃれな白ネズミのビアンカがかわいくて、シリーズ全部を読んだと思います。主人公はネズミですが一緒に冒険している気分になります。

○「おばけのてんぷら」 作 セナ ケイコ

王道ですが、子供の頃あのかわいいウサギとおばけの絵が大好きでした。最後のオチもかわいく、おばけが食べられなくてよかったと思っていたのを覚えています。

○「こぼちゃん」(4コマ漫画) 作・絵 植田 まさし

4コマ漫画の作品で1冊のコミック本になっていて、たくさん読み過ぎてオチが分かっちゃうくらい読んだ。少しずつ子供たちが成長していくのも面白い。

○「りぼん」月刊誌

もともと本を読むことはあまり好きではありませんでしたが、漫画は絵が多く、文字が少ないので手に取りやすく、読み易かったので購入していました。もちろん漫画本なので親がお金を払ってくれるわけはなく、自分のおこづかいで発売日に本屋さんに行き購入していたのを覚えています。本の内容は覚えていませんが、イラストをまねて描いて母に「じょうずだね。」と言われ嬉しかったのは覚えています。

【保護者感想＜食育活動＞ 2学期】

ソラマメの花が咲きました。(3月1日)



・自然に触れる機会をいただけてリフレッシュできました。

家庭に持ってきて「これは幼稚園の野菜だよ。」と言添えるだけで食べが違いました。実際にとても美味しかったです。

小学校へ入学し、稲作の歴史や植物の生長の過程を学んでいくと思いますが、「脱穀したよ。」等の会話が実際に体感し学ぶことの大切さを感じました。先生方は大変だと思いますが今後も栽培活動を楽しみにしています。

・特に、サツマイモ掘りは苗植えから親子で行うことが出来、親子の時間を作ることが出来てよかったと思います。また、土に触れたことで刺激にもなりますね。最近は前よりイモ類を食べるようになった気がします。食育にもなり、ありがとうございました。

・幼稚園でもらってきた野菜や収穫したものを調理すると大喜びで積極的に食べるのでとても微笑ましいです。収穫したものの絵を描いたり、栗の重さを図って比べたりと自分で遊びに発展させていろいろと

楽しんでいました。

・いろいろなお野菜、体験を通して毎日食べているお米やお野菜は時間をかけて大きくなり、食べることが出来るようになっていくこと、一つのお野菜でも色や形、味も違うこと、栽培活動を通していろいろな小さい気づきが増えてきたように感じます。最近ではホームセンターに行くと花や野菜の種売り場に行って「これ植えてみたい!」と言うことが多くなりました。

・サツマイモの収穫では重そうにしながらもニコニコで楽しかったんだなと思いました。テレビで田んぼの映像が出ると「(わたしも) やった!」と話していました。

・栽培活動では食育につながっているとよく感じます。家で野菜はあまり食べたがりませんが、幼稚園の野菜はよく食べる! + 何に調理するかまで考えて帰ってきています。そして、自分で料理したがりです。保護者の畑のお世話も楽しく参加させていただきました。もう実践していただいています、調理活動体験の回数も増やしていただけたら、もっと楽しみが増えそうです。

・たくさんの栽培活動をありがとうございます。野菜が大きくなっていく過程を実際に見ることで作り手の大変さを知る機会になっていると思います。(例えば) サツマイモの蔓なら取ってしまっても掘りやすくしてから始めることがほとんど、葉っぱの形を見ることがや蔓を取ることを大変さなど、今の時代全て手間のかからないようにしていますが、手間をかけることで当たり前が当たり前でないということ、なかなか体験できないことをお友達と一緒に共有でき、感謝です。また、実際の体験から図鑑を見たり、図鑑からの実際に、子供のなぜの学びが深まっていると思います。体験を大切にしたい栽培活動ありがとうございます。

・幼稚園から持ってきたピーマンやナスは「これはママのために持ってきたんだよ。」と言って食べることがなかったのですが、自分で収穫したサツマイモは、アルミホイルでまいてストーブの上で焼き芋にして食べていました。「これは、ぼくがつくったさつまいもだよ。おいしいでしょ?」と言って、家族に食べてもらえることがうれしいようでした。

・田植えは少し気持ち悪かったけど稲刈りは楽しかったみたいです。最初からお米は白いと思っていたみたいで精米前のお米にびっくりしていました。サツマイモ植え、サツマイモ掘り、自分で収穫した野菜は何でもがんばって食べられるよう努力していました。

・幼稚園でできた野菜を持って帰ると、うれしそうで「ようちえんでとれたやさしい、おいしいんだよね。」と言って食べてくれます。ジャガイモの(種類の)名前をスラスラ教えてくれた時は驚きました。

・家ではできない貴重な体験ありがとうございます。どの栽培でも帰ってくると嬉しそうに話してくれました。サツマイモの収穫は親子でやったので、本人の中では特別だったみたいで、家族みんなに何度も「おいしい? ママと一緒に掘ったんだよ。いっぱい食べてね。」と言ってくれました。このような会話が出来るのは栽培活動があるからこそなので、本当に楽しい時間になっています。

・田植えでは「ぬるぬるしていて気持ちよかった。」と話してくれました。ジャガイモ掘りでは楽しかったからもっとたくさん掘りたい! と言ってました。親子で触れ合いながら貴重な体験ができ、先生方やお友達と楽しみながら学ぶことが出来て、鳩山幼稚園ならではの良いところだと思っています。

・ピジョッコを見ながら「この茶色のご飯（自家製玄米）はみんなで作ったんだよ!」と教えてくれました。白と茶色のご飯どっちがおいしかった?と聞くと茶色の方と笑顔で教えてくれました。家で玄米を混ぜて炊くと美味しくないと思えないので、自分で作ったご飯は特別ですね。

・親子で植えたサツマイモと一緒に収穫することが出来楽しかったです。大きなサツマイモが出てきたので娘は嬉しそうでした。素揚げ、サツマイモご飯、大学芋など家族で楽しむことが出来ました。幼稚園で作ったイモ餅がとても美味しかったようで、家に帰って来てから詳しく作り方を教えてくれました。野菜の育て方、料理の方法などを学べたと思います。イネ刈りや脱穀、粳すりの様子も園だよりや写真で知ることが出来ました。

・もともと野菜は好きな方ですが、自分たちで育てて収穫したものはいつもの倍くらい美味しかったそうです。家でも野菜を育て始めたり自然環境や食材の食べ残しなどについても考えるきっかけになったようです。

・持ち帰った野菜を使った料理はいつもよりたくさん食べてくれます。サツマイモの収穫と一緒に言い大量で喜んでいる姿を見て貴重な体験をさせていただいたなあと思えて感じました。

・収穫した日はバスから降りたら、本人の気がすむまで、収穫の様子、先生が話してくれたことなど話してくれます。その内容でその日の様子が目に浮かびます。そして、自分で収穫したものは「これは自分がとったんだよ。幼稚園で作ったんだよ。」と言い、自分一人で食べてしまうこともあります。家ではあまり野菜は食べませんが、自ら収穫したものは格別なようです。

<来年度も食育につながる栽培活動に取り組んでいきます。>